

ODA

しゃりん

74

沖縄脊髄損傷者連合会

編集: 沖縄脊髄損傷者連合会 TEL/FAX 098-886-4211
 〒903-0804 沖縄県那覇市首里石嶺町4-373-1西棟2階・ボランティア小規模団体室
 Eメールアドレス sekiren@proof.ocn.ne.jp
 ホームページアドレス <http://www.normanet.ne.jp/~ww500008/>

第31回九州ブロック 会議福岡大会

去る10月19日(金)、
 20日(土)の両日、第31
 回九州ブロック会議福岡大
 会が開催され、沖縄連支部
 から役員2名が参加しまし
 た。

会議1日目は、九州各支
 部から18年度活動報告、
 19年度活動方針の報告が
 あり、質疑応答後に10年
 活動計画の報告が各支部か
 らなされました。報告の中
 には、会員の減少により今
 現在の会活動自体が困難に
 あり、数年先の活動計画が
 立てられない状況という支
 部もあり、各支部の存在意
 義や、スポーツ・レクレ
 ション活動の必要性を訴え
 る意見もあがり、10年活

動計画のまとめとして、具
 体的な長短期的活動計画の
 策定として、スポーツ・レク
 レーション活動も盛り込ま
 れました。

会議2日目は、全脊連本
 部から来年開催される全脊
 連総会千葉県大会の報告
 と、九州ブロックから本部
 への提案がなされ、最後に
 2008年度九州ブロック
 統一活動方針が提案され、
 各支部合意により丸ブロッ
 ク統一活動方針が決議されま
 した。2008年度九州ブ
 ロック統一活動方針は左記
 のとおりです。

- ①、相談事業について。各
 支部で年3回〜6回程度・
 県内数箇所で開催する。
- ②、相談事業担当者の研修
 会を年2回開催する。(定例
 会議・1月・7月予定)

- ③、広報活動についての研
 修会(定例会議・1月・7月
 予定)

- ④、車いす駐車場の啓発活
 動。年1回2〜3箇所であ
 施す。

- ⑤、定例会開催・1月〜7
 月に予定。研修会を含む。

- ⑥、2008九プロ熊本大
 会への支援

- ⑦、健康管理・メンタルへ
 ルスケア(専門講師による講
 演など)
 (報告・岸本・牧志)





駐車禁止除外指定車標 章変更に関して

沖縄県道路交通規則の一部改正に伴い、平成19年10月19日付けの県公報により、駐車禁止除外指定車標章の交付方法や交付対象及び駐車許可が変更されました。

【主な改正点】

★駐車禁止除外指定車標章

① 身体障害者等について

は、車両ごとに交付する方
法から、身体障害者等本人
に交付するよう改めること
とし、福祉タクシー等に乗
車するときにも使用するこ
とができます。

② 交付対象の範囲が変更ま
した。

③ 患者輸送及び車いす移送
専用車として登録されてい
るものなどが、交付対象と
して新たに追加されまし
た。

※なお、現在所持している標
章は、交付されている期限ま
で有効であり、その後の更新
の際は、新たな更新手続きを
行ってください。また、福祉
タクシー等を頻繁に利用す
る方は、現在お持ちの標章の
交付期限の途中でも、改正さ
れた規則の内容で新規発行
が可能ですので、必要と思わ

れる方は、管轄の警察署へお
問い合わせください。

(報告・上里)

上与那原寛和さん金・ 07ジャパンパラリン ピック陸上

I P C (国際パラリン
ピック委員会) 公認の20
07ジャパンパラリンピッ
ク陸上競技大会(日本障害
者スポーツ協会日本パラリ
ンピック委員会など主催)
が10月20日、大阪市長
居陸上競技場で始まり、県
車いす陸上クラブタートル
ズに所属する上与那原寛和
さん(36) 〓 沖縄市〓 が
T52クラスの200メー
トルで金メダルを獲得し、
同クラス800メートルで
銅メダルを獲得した。

上与那原さんは先月台湾
の台北市で開かれた「20
07 I W A S 国際車いす
切断者スポーツ台北大会」
(台湾台北パラリンピック
委員会主催)の200メー
トルで銀メダル、400
メートルで銅メダルを獲得
した。しかし、スタートで
うまくスピードに乗れない
ことが課題として残ったと
いう。

沖縄に戻った後は、ス
タートの強化に取り組ん
だ。今大会はトラックの2
週で競う800メートル
で、1週半までトップに
立った。200メートルで
もスタートがうまくいき、
同大会では初めての金メダ
ルを獲得した。「持久力が
なく練習不足を感じたが、
確実に成果が出ている」と

自信に満ちた様子で話す上
与那原さん。大会最終日の
21日に出場する400
メートルに向け「きょう
(20日)の成果をつなげ
る」と意気込んでいた。

(琉球新報抜粋)



沖縄シーサークラブ、 秋田わか杉大会参加

10月13日～14日に
秋田県で行われた、第7回
全国障害者スポーツ大会
(秋田わかすぎ国体)に車
椅子バスケットボール九州
地区代表として沖縄シー
サーが参加してきました。

1回戦は東北地区代表仙
台市チーム(前年度優勝
チーム)との対戦で、結果
は36対79とダブルスコ
ア以上の惨敗でした。次の
日に行われたオープン戦で
は千葉市との対戦で、千葉
市は千葉ホークスとして単
独チームでは日本選手権優
勝の強豪チームで、結果は
22対58とこちらも惨敗
でした。

沖縄シーサーとしては若
い選手が多く現在の日本
トップレベルのチームとの
対戦、ふれあいを通して個
人の実力、チーム戦術、バ
スケットに対する取り組み
などすごくいい勉強になり
ました。

全国障害者スポーツ大会
は沖縄海邦国体以来の出場
で、現メンバーではほとん

どが初の大会ということも
あり、緊張、長時間の移動
などふなれなことも多く、
今大会は結果を残すことが
できませんでしたが、来年
も九州地区の予選を勝ち抜
き今年の経験をいかし、1
勝を目標にチーム一丸と
なつて頑張っていきます。

(報告・伊波)



全国障害者スポーツ大 会開催

広告(エアー沖縄)

第七回全国障害者スポーツ大会「秋田わか杉大会」二日目の十四日、県勢は九競技に出場し、陸上競技や卓球などで金四、銀三、銅三とメダル十個を獲得する活躍だった。

陸上競技は仲地美和子さん(42)が女子百メートルと同走り幅跳びで二冠に輝いた。上原慶子さん(57)は同障害急歩で一位、同ソフトボール投げで二位に入賞。年齢別の男子百メートル(車いす使用)は山川淳二さん(24)が一位、伊藝毅さん(45)が二位。フライングディスクのディスタンスは具志堅智恵美さん(32)が二位に入った。アーチェリーは並里盛栄さん(53)が、一般卓球は太田恵太さん(1

6)が、視覚障害者のST卓球では仲川福俊さん(51)が、それぞれ三位になった。

二冠を達成した聴覚障害のある仲地さん。「もともと短距離は好きだけど、幅跳びは苦手だった」と喜びを隠せない。はじめは競技場の雰囲気にもまれていたが、「待っている間に、周りの仲間と手話で交流して緊張がほぐれた」。思い切りよく踏み切り、「前へ前へ」と意識することで、大舞台での跳躍を成功させた。

二十代当時は砲丸投げの選手だった上原さんは、四十二歳で右半身がまひした。初めて参加した全国大会での殊勲に、「あのころは世の中を捨てたみたい

気持ちだったけど、根が明るいから、やはりスポーツに挑戦するのは生きがいなんです」と顔をほころばせた。

車いすでアーチェリーに臨んだ並里さんは「寒さとプレッシャーで集中が切れた」と結果に満足しない。競技歴は一年。「まだまだ今はまねごとの段階。あと十年、二十年と技術を磨きたい」と意欲を燃やしていた。

(十/十五・沖縄タイムス抜粋)



(左から)伊藝毅さん・仲地さん・山川さん・上原さん

広告(ちはる歯科)